

■ 北中城IC～伊佐交差点ハシゴ道路計画 (トンネル方式の提案)

要請書(私案)

Vol. 01 2016/10/1

提案理由： 沖縄県中部土木事務所より平成28年8月に「北中城ICと普天間三叉路を繋ぐアクセス道路の検討」業務が委託発注された。

(NPO法人)普天間門前まちづくり期成会としましては、国道330号と県道宜野湾北中城線の交叉する普天間交差点は北中ICからの直接接続は交通渋滞増長とまちづくり計画の阻害要因になると判断しています。

北中城ICからの流通アクセス改善は、大山地区などの西海岸地域のニーズが大きく、普天間地区の通過交通をトンネル方式で伊佐交差点方面まで計画対処するのが妥当と判断されます。

なお、普天間地区へのアクセスも必要でありますので、計画中の西普天間開発地域への中間点地上接続が望ましいと思料します。(添付イメージ図参照)

補足： トンネル工法は、一般明かり道路に比べて、用地・建物・営業等補償費を含む事業費が安価で工期も短く供用開始が早いので当該地域に適合する方式です。また、当該地域の地盤は第3紀島尻固結粘土層(泥岩)の安定的地層であり、山岳トンネル工法の施工性、安定性のうえからも良好であり適正と云えます。

提案：北中城IC～伊佐交差点ハシゴ道路計画(トンネル)案

by JOJO



北中ICから大山地区への通過交通バイパスが重要な課題と云えます。

北中城IC～伊佐交差点バイパス道路計画案 L ≒ 2Km

普天間三叉路への直接アクセスは、混雑度の面から避けるべきコントロールポイントと史料します。